

一般会計予算516億円 皆さんの税金の使い道が決まりました

一般会計		516億円
特別会計	国民健康保険特別会計(事業勘定)	127億 2,700万円
	国民健康保険特別会計(施設勘定)	11億 4,100万円
	後期高齢者医療特別会計	10億 2,200万円
	介護保険特別会計	83億 6,800万円
	下水道事業特別会計	36億 700万円
	農業集落排水事業特別会計	14億 100万円
	公設地方卸売市場特別会計	4,670万円
企業会計	水道事業会計	29億 2,893万 3千円
	病院事業会計	3億 2,021万 6千円
総 額		831億 6,184万 9千円

人口減少に歯止めをかけ、いきいきとした東近江市を創生するため、合併後、初の500億円を突破する積極予算が提案されました。議会では、それぞれの委員会で審議を行い、すべての予算案を原案のとおり可決しました。

その中から、事業の一部を紹介します。

民生費
180億4,395万円

乳児おむつ等支給事業 2,527万円
子ども医療費助成を中学校3年生まで拡充 2,000万円
第3子以降の保育料無償化(保護者負担軽減額) 約6,700万円

総務費
53億8,459万円

中心市街地活性化 1億2,216万円
空家活用補助 500万円
転入者の住宅新築、中古住宅取得の補助 7,450万円

教育費
65億1,111万円

認定こども園・幼稚園施設整備 18億3,600万円
小中学校施設整備 5億6,066万円
学童保育所施設整備 9,044万円
病児保育室の開設 605万円

消防費
36億5,089万円

防災情報告知放送システム整備 20億3,100万円
災害現場情報収集伝達システム構築 443万円

衛生費
41億3,512万円

不妊治療・不育症治療費助成 905万円
妊娠・出産サポート事業(産後ママサポートチケット配布) 260万円

商工費
5億3,933万円

空店舗改修補助 500万円
住宅リフォーム助成 3,000万円
企業誘致 7,328万円

土木費
39億6,963万円

道路の整備 13億4,104万円
橋梁トンネル長寿命化 1億3,880万円
河川の改良 2,030万円

その他

労働費 9,879万円
議会費 2億7,398万円
公債費 60億451万円
諸支出金 3億1,851万円
予備費 3,000万円

農林水産業費
26億3,953万円

有害鳥獣対策 4,984万円
新規農業者支援 1,200万円
環境保全型農業直接支払事業 1億2,800万円

予算の修正案が提出されました

八日市駅前を含む中心市街地の活性化が主な争点となり、野田議員ほか2名から一般会計予算の修正案が提出されました。修正案、原案に対する討論の一部を掲載します。

修正案に反対 河並義一 議員

修正案は、中心市街地の活性化予算をすべて減額するもので、地方創生・当市の成長を否定するものである。特に、観光による経済波及効果は大きく、市内それぞれの業種に与える効果を考える上不可欠な施策である。国の地方創生予算を利用できるタイミングは今しかない。市域の活性化を否定し、事業案を中止とする修正案には反対。

修正案に賛成 岡崎嘉一 議員

中心市街地の活性化計画が策定されていないのに、なぜホテル誘致をプロポーザルで公募がされたのか、理解ができない。さらに、施設が民間のホテルであり、倒産など起これば活性化など有り得ない。将来に禍根を残さないためにも、まちなか魅力創生事業費は減額修正し、さらなる論議を行うべきである。

原案に賛成 河並義一 議員

一億総活躍社会の実現に向け、国だけではなく地方自治体も少子化対策にスピード感をもって取り組む必要があり、28年度は地方創生をさらに加速化させるための重要な年である。本予算は、当市が持つ地域資源を最大活用し、人口減少社会に挑戦していく強い意思が込められている。将来を見据えた地方創生を図る予算であり賛成。

原案に反対 野田清司 議員

516億円もの超大型となった新年度予算の編成で、基金を36億7千万円取り崩し、さらに借金(起債)を61億8千万円もして、予算の財源不足を補っている。その結果、借金は605億円余りになり、市民1人あたり52万6千円にもなる。公債費負担が増え、将来世代へのツケとなる予算には反対。